Cyber Visionのセンサー CLI ログイン手順について

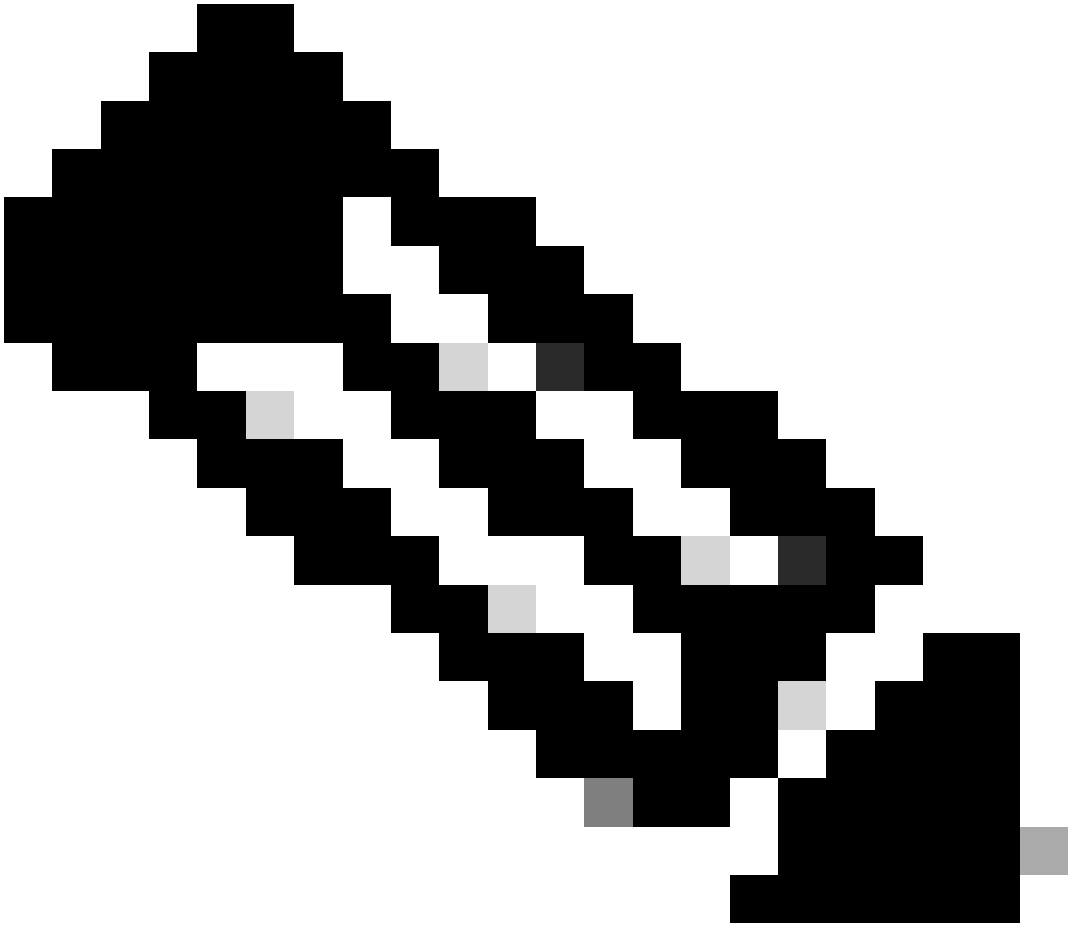
内容

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Cyber Visionのネットワークセンサーとハードウェアセンサーの両方のセンサーCLIログイン手順について説明します。

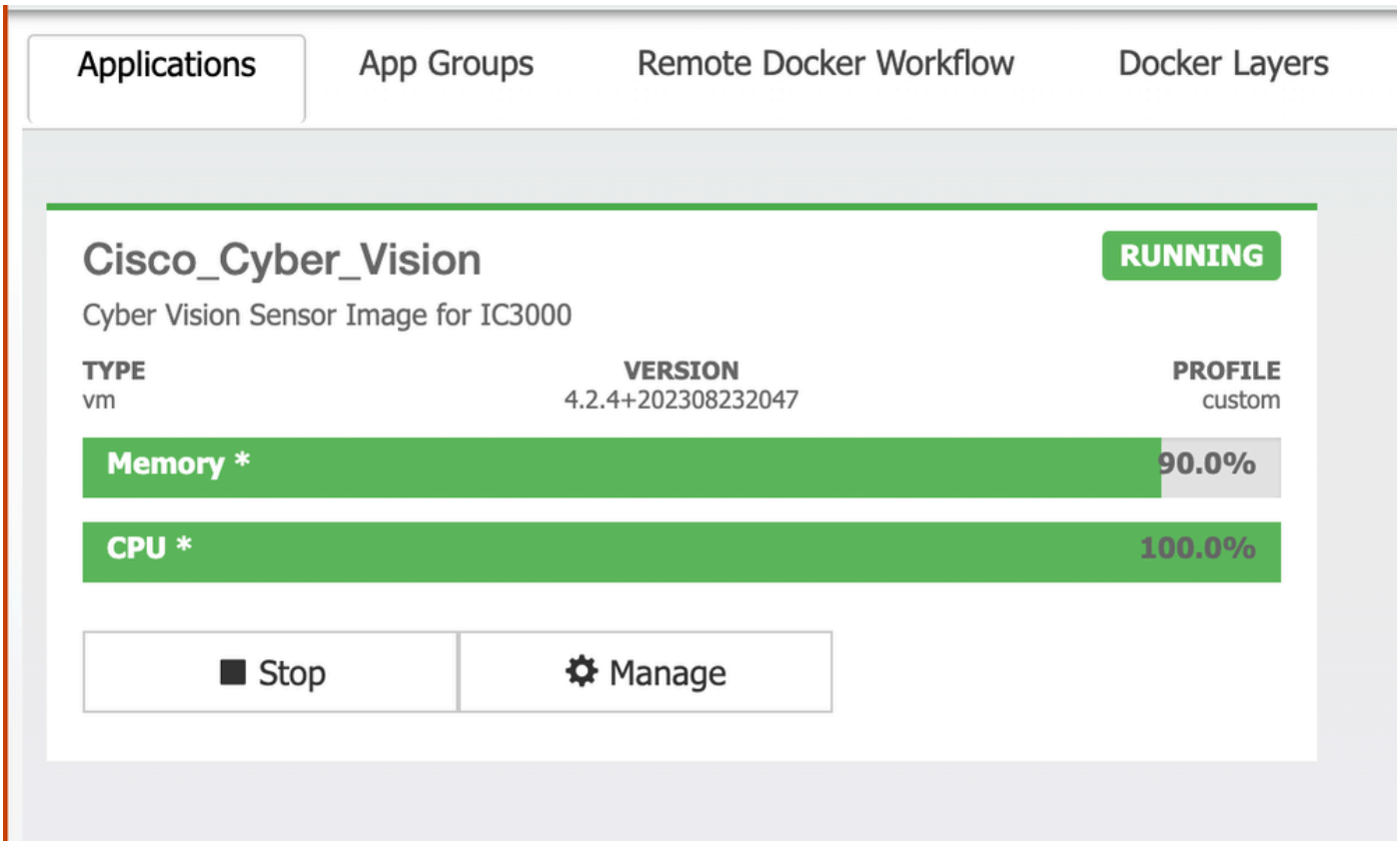
ハードウェアセンサー – IC3000

Cyber Visionバージョン4.3.0以前

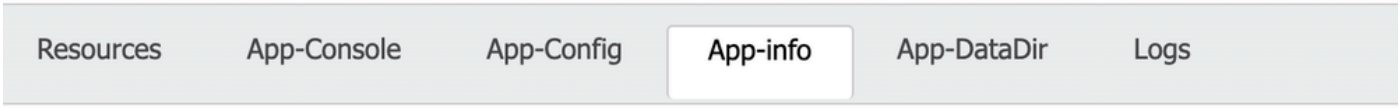


注：Cyber Visionバージョン4.3.0より前では、IC3000センサーは仮想マシン(VM)としてCisco IOxに導入されていました((Cisco IOs + linuX)は、シスコネットワークプラットフォームのさまざまなアプリケーションタイプにアプリケーションホスティング機能を提供するエンドツーエンドのアプリケーションフレームワークです)。ローカルマネージャ。

IC3000ローカルマネージャインターフェイス(https://ip_address:8443)に管理ユーザとしてログインし、アプリケーションに移動して、manage appオプションをクリックします。



App-infoメニューを選択し、次に示すようにApp Accessセクションにある Cisco_Cyber_Vision.pemオプションをクリックします。



Application information	
ID:	Cisco_Cyber_Vision
State:	RUNNING
Name:	Cisco Cyber Vision
Cartridge Required:	• None
Version:	4.2.4+202308232047
Author:	Cisco
Author link:	
Application type:	vm
Description:	Cyber Vision Sensor Image for IC3000
Debug mode:	false

App Access	
Console Access	ssh -p {SSH_PORT} -i Cisco_Cyber_Vision.pem appconsole@10.106.13.143

Cisco_Cyber_Vision.pemファイルにあるRivest-Shamir-Addleman(RSA)キーをコピーします。次に、Cyber Vision Center CLIにログインし、ファイル内にRSAキーの内容を含む新しいファイルを作成します。

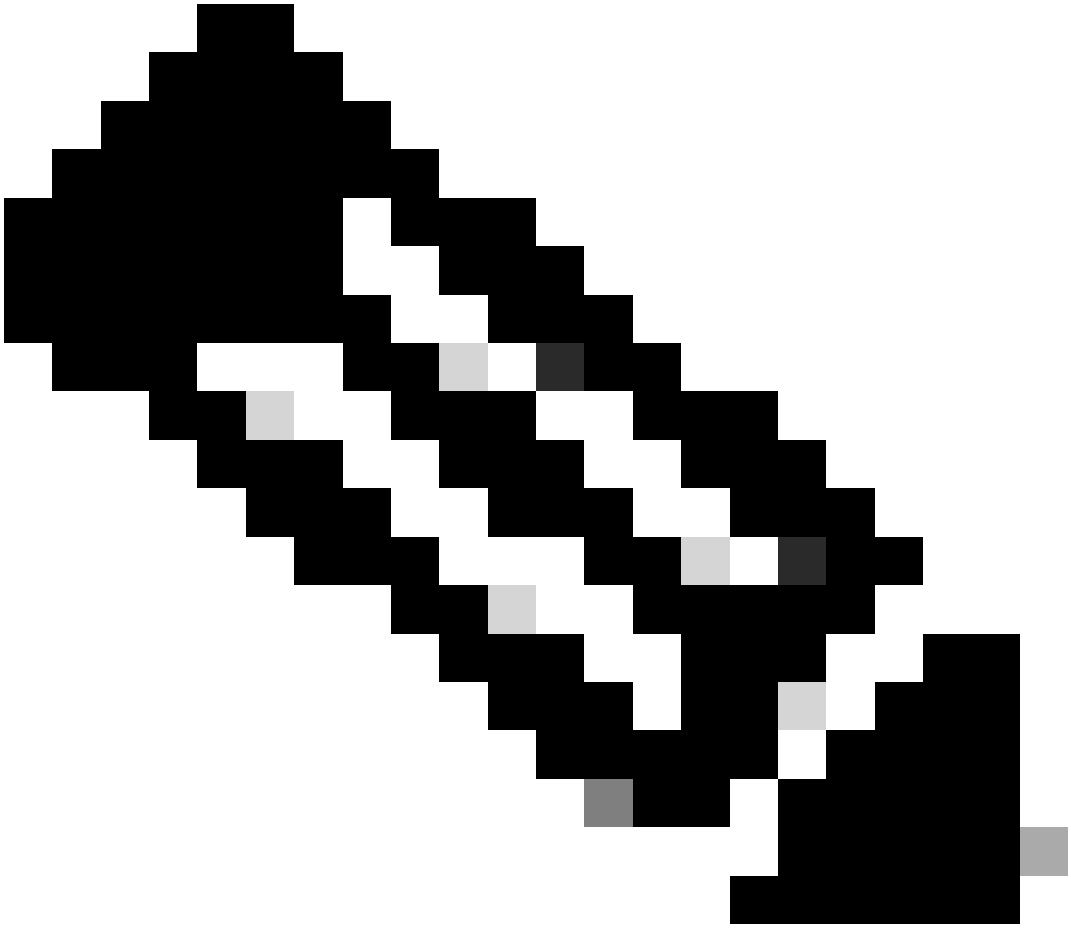
任意のLinuxエディタ、たとえばviエディタ（ビジュアルエディタ）を使用してファイルを作成し、RSAキーファイルの内容をこのファイルにペーストします(この例では、Cisco_Cyber_Vision.pemがファイル名です)。

```
cv-admin@Center-4:~$
cv-admin@Center-4:~$ sudo su -
root@Center-4:~#
root@Center-4:~# vi Cisco_cyber_Vision.pem
root@Center-4:~#
root@Center-4:~# chmod 400 Cisco_cyber_Vision.pem
root@Center-4:~#
```

chmod 400コマンドを使用して、ファイルCisco_Cyber_Vision.pemへの権限を制限します。
これで、IC3000センサーコンソールに次の方法でアクセスできるようになりました。

```
ssh -p {SSH_PORT} -i file_name appconsole@LocalManagerIP
```

たとえば、セットアップで設定されたセキュアシェル(SSH)ポートが22、Cisco_Cyber_Vision.pemがファイル名、Local Manager IP address(LMIP)がLocalManagerのIPアドレスの場合、結果はssh -p 22 -i Cisco_Cyber_Vision.pem appconsole@LMIPになります。

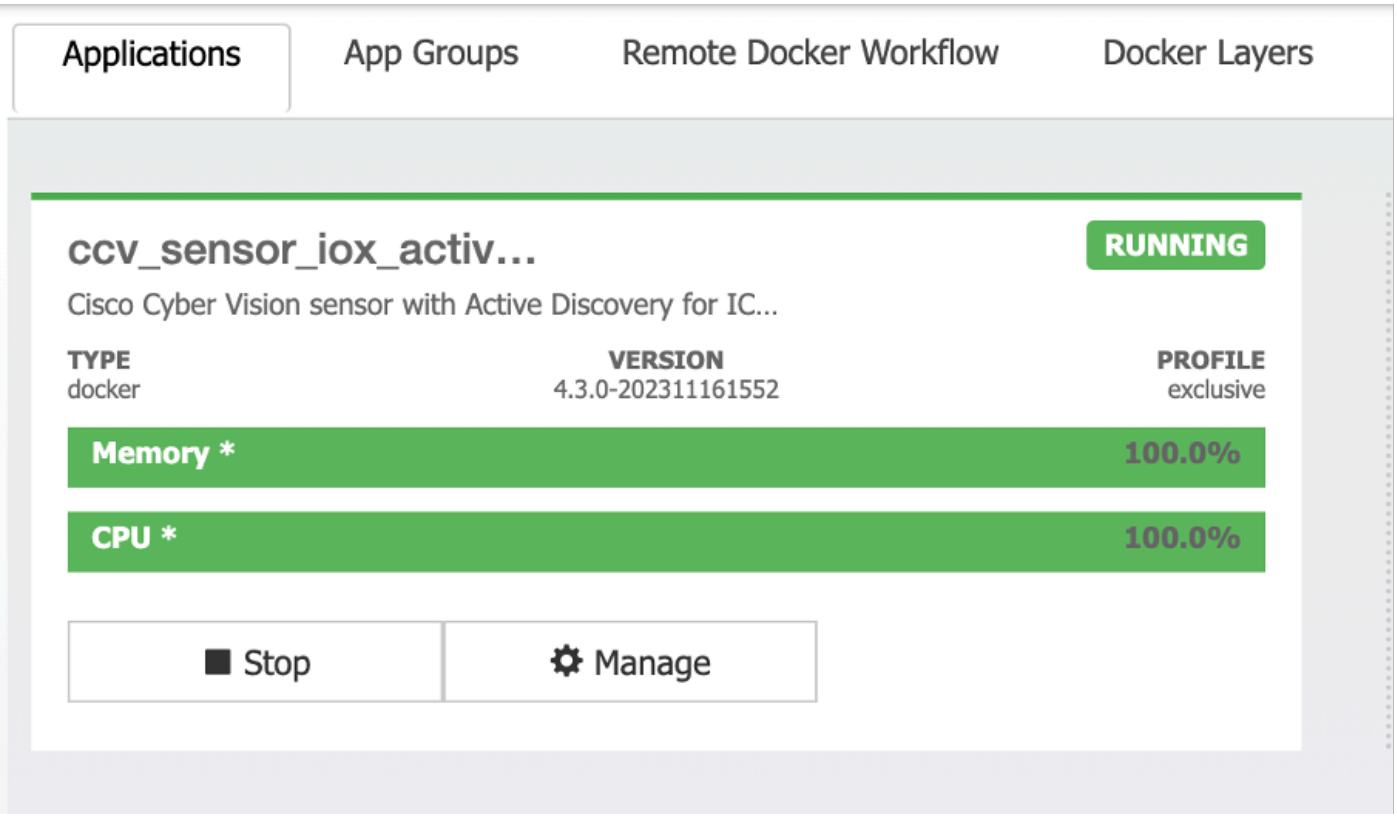


注:IC3000証明書はスイッチがリブートされるたびに変更されるため、この手順を繰り返す必要があります。

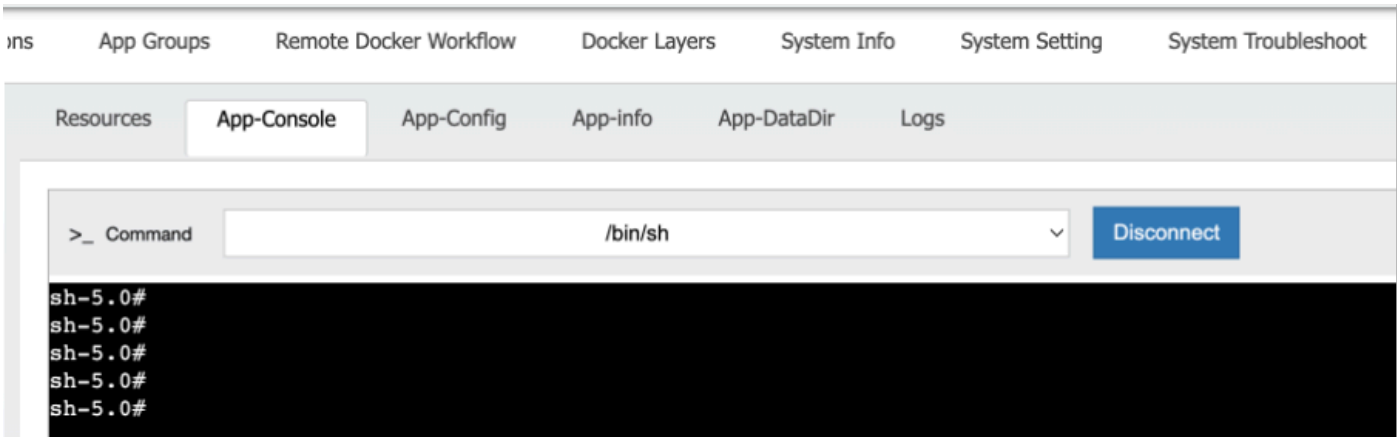
Cyber Vision 4.3.0バージョン

IC3000形式のCisco Cyber Visionセンサーアプリケーションは、バージョン4.3.0でVMからDockerに変更されました。これに関する詳細は、Cisco-Cyber-Vision_Release-Notes-4-3-0.pdfを参照してください。

IC3000ローカルマネージャインターフェイス(https://ip_address:8443)に管理ユーザとしてログインし、アプリケーションに移動して、manage appオプションをクリックします。



次に、App-Consoleタブに移動して、センサーアプリケーションにアクセスします。



ネットワークセンサー

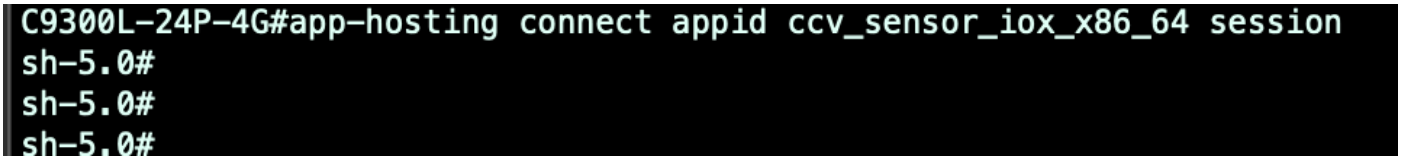
各スイッチのCLIにログインし、次のコマンドを使用してセンサーアプリケーションIDをコピーします。

show app-hosting list

次を使用してセンサーアプリケーションにログインします。

app-hosting connect appid sensor_app_name session

たとえば、この場合は **app-hosting connect appid ccv_sensor_iox_x86_64 session**です。



画面キャプチャに示されているプロンプトは、センサーのログインが成功したことを示しています。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。